

し一方現在續出する失業者の悲惨なる状態を
直視して是策不安の緩和策を考究中なりしが
偶々九月中旬に一部職工に昇給ありたるなり
而して其昇給なるものは造機部のみにして造船
部には及ばりき會社にては薄給者と技術優秀
勤怠等の如何に依つて昇給したると雖も事實
は或る閥のみの昇給にして百分の四五より外
なし其處置に吾等は憤慨したるなり
然るに吾々組合員は日々にせまる生活難は
如何ともする事能はずして各工場職工より歎
願書を作製して組合幹部に提出し直に會社へ
提出せし度き旨申出で

采るなり然るにも不拘吾等幹部は今此歎願書
を會社に提出して不可なるを慮り極力之れに
反對して幹部會に於て之が提出する事を否決
したるなり。

時に恰も横濱鶴見等にて爭議惹起中是等の事
情を察してが會社にては突然一割見當の増給を
聲明せり職工は元より満足するには尚遠けれ
ども會社の此措置に吾等は感謝し而して之を
最も公平に均霑すべく平等増給を希望したる
であるなり會社の一割増給とあらば高給者と
薄給者との給料の差額は益々間隔甚だしくなる
故平等増給なれば斯る弊害もなく生活難緩和
のための増給なれば極めて至当なるものなり